

登録コード	UAF66500	開講年度	2026				
授業題目	投影法特論			担当教員	高橋 知音 他		
				副担当	茅野 理恵・川崎 隆・高橋 史・向井 秀文		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				心理学分野の高度な知識・技能を有する。		
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。		
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。		
(2)授業の概要	箱庭療法、コラージュ療法についての理解を深める。 PFスタディ、バウムテスト、風景構成法、家族画等の投影法の理論的背景や心理測定学的特性について調べ、理解を深める。 実施事例の解釈について、授業内でディスカッションを行う。						
(3)授業計画	第 1 回：史 投影法について 第 2 回：茅野 箱庭療法 第 3 回：茅野 箱庭療法 事例検討 第 4 回：茅野 コラージュ療法・星と波テスト・ワルテック描画テスト 第 5 回：茅野 グッドイナフ人物画知能検査 第 6 回：川崎 スクイグル法 第 7 回：川崎 家族画（動的家族画・FIT等） 第 8 回：川崎 S-HTP法 第 9 回：川崎 エゴグラムと交流分析 第10 回：知音 PFスタディ 実施法、採点法と解釈 第11 回：知音 SCT 実施法と解釈 第12 回：知音 SCT,PFスタディの事例検討 第13 回：向井 バウムテスト 理論 第14 回：向井 バウムテスト 実践 定期試験 無 ＊授業最終回に授業アンケートを実施します						
(4)成績評価の方法	1)以下を総合して判定する。 投影法心理検査の理解を深めるための発表 30% 投影法心理検査の実施結果が解釈できるかどうかを確認するための報告 30% 投影法心理検査の実施結果をまとめる力を評価するための報告書 40% 2)得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)成績評価の基準	授業で出された課題の遂行具合 ディスカッションや演習に積極的に参加することができたか 授業後の振り返りレポートにおいて授業内容を十分に理解していたか 投影法による心理アセスメントについて理解することができたか 他者の意見を取り入れながら柔軟に課題を検討することができたか 以上5つの観点について ～ の5項目を満たし、且つ新たな視点を組み入れつつ検討することができていれば「卓越している」 ～ のうちの5項目を満たしていれば「かなり上にある」 ～ のうちの4項目を満たしていれば、「やや上にある」 ～ のうちの3項目を満たしていれば、「その水準にある」						
(6)事前事後学習の内容	・授業に参加するにあたっては、各検査内容について参考資料を調べておくこと。 ・受講生は検査を受ける協力者を見つけ、検査を実施し、その結果をまとめる。 ・授業のディスカッションも参考に、検査結果は最終報告書にまとめる。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(7)履修上の注意	・授業で紹介される事例については授業外で口外しない。守秘義務を守ること。 ・授業内容の不明な点を調べる、復習する、紹介文献を熟読するなど、自発的学習を求める。 ・臨床心理学コース以外の学生は、受講できない。						
(8)質問、相談への対応	高橋知音（北校舎3階317） TEL:026-238-4223 e-mail: tomonet@shinshu-u.ac.jp 高橋史（東校舎4階406） TEL:026-238-4231 e-mail: f_taka@shinshu-u.ac.jp 茅野理恵（東校舎4階403）						

(8)質問,相談への 対応	TEL:026-238-4207 e-mail:chinori@shinshu-u.ac.jp 向井秀文（東校舎4階405） TEL:026-238-4208 e-mail:mukaih@shinshu-u.ac.jp 川崎隆（東校舎） TEL:026-238- e-mail:
【教科書】	エリザベス・0. リヒテンバーガー エッセンシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方 日本文化 科学社
【参考書】	PFスタディ 絵画欲求不満テスト解説書 三京房 精研式文章完成法テスト解説 - 成人用 - 金子書房 グッドイナフ人物画知能検査 新版ハンドブック 三京房 風景構成法 その基礎と実践 誠信書房 カラージュ療法 基礎的研究と実際 川島書店 バウムテスト 自己を語る木：その解釈と診断 心理相談のための ワルテック描画テスト 川島書店 星と波テスト入門 川島書店 S-HTP法 統合型HTP法による臨床的・発達のアプローチ 誠信書房 被虐待児のアートセラピー 絵から聞こえる子どものメッセージ 金剛出版 バウムテスト 自己を語る木：その解釈と診断 川島書店 バウムテスト[第3版]ー心理的見立ての補助手段としてのバウム画研究 誠信書房 樹木画テスト 北大路書房